

# 報館あもり

発行所  
長野市立安茂里公民館  
電話 226-4059  
発行人 新見 宏司  
発行月 5.7.9.11.1.3月  
(株) 信光社

### 知られざる

### 戦禍の安茂里①

昭和の安茂里を語り継ぐ会

### 75年前、終戦目前の安茂里

あの松代大本営地下壕とほぼ時を同じくして、この安茂里地区に軍によっていくつもの洞穴が掘られていたことを皆さんはご存じでしょうか。その研究を進めている「昭和の安茂里を語り継ぐ会」が存在すると聞き、安茂里の貴重な歴史の一端を知っていたければとシリーズでお伝えすることをお願い致しました。戦争体験者が年々減る中、こうした事実を風化させてはならない：その思いが伝わります。

- 第一回 75年前、終戦目前の安茂里
- 第二回 海軍の軍令部隊
- 第三回 水戸の工兵隊がしていたことは
- 第四回 謎の部隊 「蘭田部隊」
- 第五回 総括



かつて「杏の里」として知られた安茂里は、北になだらかな山々、南に犀川が流れる風光明媚で自然豊かな土地です。けれども今から75年前、戦争が終わろうとしていた頃、海軍の最後の拠点になりかけていたことは、ほとんどの人が知らないと思います。10年ほど前、私が長野俊英高校郷土研究班顧問であった時、終戦時の塚田伍八郎村長(当時の第11代安茂里村長)

### 安茂里地区 世帯数と人口 (6月1日現在)

世帯数	9,198戸
総人口	20,894人
男	10,067人
女	10,827人

がのこした『自由日記』に出会えました。そこには今までどこにも書かれていなかった驚きの記述がありました。

「林部隊(軍の様々な工事をする「工兵」)の一部隊、陸軍の作戦を担う最上級者である参謀総長の指揮下にあったという)が犀川神社付近他三ヶ所に洞穴を掘っていたこと」「横須賀海軍工廠造兵部(海軍の兵器などを製造・修理した機関)・蘭田部隊の墨谷助市大尉が7月26日、翌日には部隊長蘭田中佐も来村、やがて部隊は塚田之安宅(現在の元市長塚田佐宅)に本部を置き、村長宅(現在の塚田妙子宅)には士官宿舎を、兵士は小市分教場(当時の安茂里小学校)に駐屯したこと」などが日記の形で残されていたのです。

果たして陸軍は何のために犀川神社付近に洞穴を掘っていたのか：また海軍がなぜ安茂里村にやってきたのか：そして陸軍と海軍は連携して動いていたのか：…判然としな

いことばかり。こうした事実が本当にあったのか確認しようと、戦争の各種資料が集まっている防衛省防衛研究所に質問しても、図書館などの諸文献を読みあさっても全く解りません。そこで実際に洞穴を掘ったという痕跡などがあるのかを確かめるため、住民自治協議会の会長さん等を通じて一緒に来た小市地区在住の塚田武司・岡村元一両氏とともに聞き取り・調査を開始しました。

その期間は約三ヶ月ほどでしたが、「犀川神社付近他三ヶ所」に確かに穴の跡が発見できましたし、墨谷大尉の遺族を北陸のある県に探しあて、「蘭田部隊」が実際に存在したことも確かめられました。こうした経過を踏まえ2月21日には、証言者・関係者で「自由日記・安茂里の歴史を語る会」を開きました。会場はこの事実を子や孫に伝えたという熱気に溢れ、掘り起こしたさらに進み深まっていったのです。

そして、この度「昭和の安茂里を語り継ぐ会」を結成しその成果を冊子「『自由日記』が語るもの」にまとめることができました。今回からその概略等を5回に渡って紹介させていただきます。(歴史を語り継ぐ会 土谷 光男)

## 杏仁

安茂里公民館の多くの講座が新型コロナウイルスの影響で中止になり多くの皆さんにご迷惑をお掛けして

いる。そんな中で予想はしていたものの夏のインターハイにつき甲子園大会も正式に中止が決まった。3年生にとって高校生活の集大成となる大会：その悲しみ、やりきれなさは私たちの想像を絶する大きなものであるに違いない。

▼世界の王貞治氏はその著書の中で述べている：「努力は必ず報われる、報われない努力があるとすれば、それはまだ努力が足りないのである」

……偉大な先輩の言葉を糧に甲子園を目指し懸命に努力してきた球児もいたであろう。

▼しかし、彼らがどんなに努力をしようと今回の理不尽な現実を変えようがない。同じことはほかの部活で頑張ってきた生徒、そして中学3年生にも大学4年生にも……最後の学校生活を締めくくろうとしていた若者たちすべてに言えることである。彼らの嘆きに社会はどう応えるべきか……：コロナウィルスとの戦いの中で模索が続いている。

# 窪寺観音正覚院の 春まつりと算額

毎年四月十八日は正覚院の「窪寺観音春まつり」が行われています。例年、境内のお堂が開帳され、十一面観音様・聖観音様・千手観音様のお顔を拝見しながらお参りいただけます。また、境内には屋台が出店し、夕方からは巫女舞や獅子舞の奉納、そして皆さんお楽しみ大迫力の仕掛け花火やミュージックスターマインを間近で楽しむことができます。

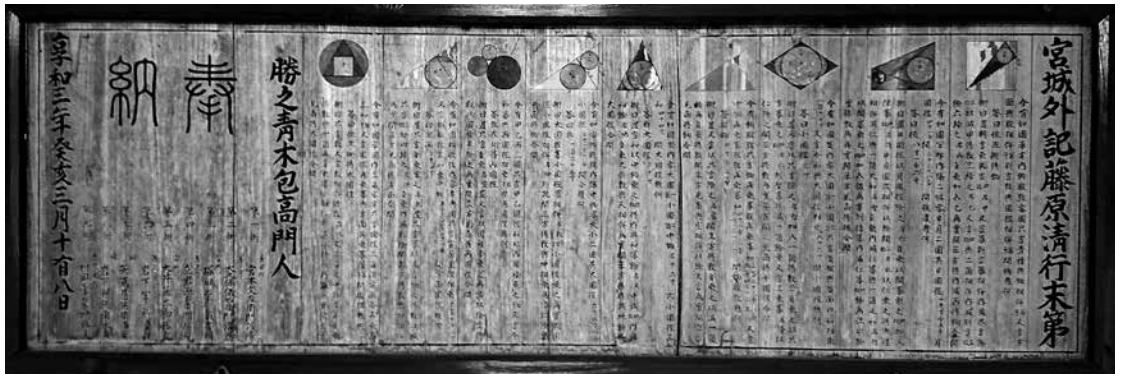
しかし今年には新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、屋台の出店や各種催しを自粛した縮小開催と致しました。本来であれば、巫女舞や獅子舞・花火奉納も地域の人々の無病息災や繁栄を願って奉納

されるものです。おまつり当日はそういった思いも込めて、観音堂にてお護摩を焚き、皆様の身体健全・疫病退散をお観音様に祈念致しました。

お祭りを楽しみにしていただいていた子供たちも今年はないかな学校に行けず勉強に苦労していたと思います。ところで、皆さんは正覚院の本堂に大きな「算額」がかけられているのをご存じでしょうか。算額とは江戸時代に和算(日本独自の数学)の問題や解法を額に記して寺社仏閣に奉納されたもので、勉強が出来ることを仏前に感謝し、より精進することを祈念して奉納されてきました。当時久保寺村(安茂里)には和算の大家がおり、正覚院に奉納されているものは県内で現存する最も古いものであると言われています。物のない時代に高等な数学の勉強が行われていた様子が良くわかる貴重な資料となっております。



今もまた大変な世情ですが、早く子供たちが安心して遊び、遊べる世の中に戻ることを願うばかりです。



窪寺観音正覚院の算額

まだまだ油断は出来ませんが、来年のおまつりが開催出来る暁にはどうぞ本堂の算額もご覧ください。

(正覚院 副住職)

## 利用しやすい 公民館へ

公民館運営委員会副委員長  
飛沢 文人



今年度、安茂里公民館運営委員長を務めさせていた

副委員長を務めさせていたことになりました宮沖区長の飛沢です。

令和2年度の安茂里公民館の活動は、年初からの新型コロナウイルスの感染拡大により、年度当初の大事な時期に諸会議、各種講座をはじめとする事業等が思うように実施することができませんでした。本来ならば令和2年度は、安茂里地区住民自治協議会が2度目の指定管理を受けて新体制の下で本格的な活動を始める年になるはずでした。しかし、先が見通せないという、今までに、経験したことのない困難な状況の中での公民館事業運営のスタートとなっております。

はありますが、安茂里公民館の業務運営が少しでも円滑に進み、初期の目的が達成されるよう、副委員長の職務を微力ではありますが誠心誠意務めさせて頂きます。地域の皆様に親しみやすく、利用しやすい公民館を目指して努力し、「安茂里」という地域コミュニティの発展のために尽力できればと考えていますので、何卒、皆様のご支援、ご協力、ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。

## 第21回安茂里地区 囲碁将棋まつり

8月30日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止させていただきます。関係の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いたします。

**なかよし広場**  
くおうち編く

「なかよし広場」は、お母さんと未就園児が気軽に参加でき、お友達と遊べる会です。本年度は感染予防のため9月の開始予定です。おうちにいる時間にお子様と工作などいかがでしょうか。なかよし広場をご指導いただいている庄村光子先生に、かんたんな工作をご紹介します。

### うさぎのおきあがりこぼし

#### 【材料】

- ・紙皿 ・色画用紙(5cm×10cm)1枚 ・マジック ・のり

#### 【作り方】

- ① 紙皿を中表に半分に折る
- ② うさぎの顔を描く
- ③ 色画用紙を半分に折り(5cm角になるように)耳を2枚作り紙皿に貼る

### 糸でんわ

#### 【材料】

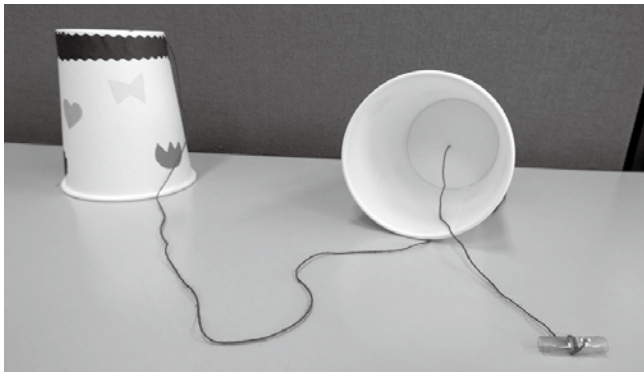
- ・紙コップ2個 ・木綿糸1m20cmくらい(針も使います)
- ・ストロー2cm×2本 ・セロハンテープ

#### 【作り方】

- ① 紙コップの底の真ん中に針で糸を通す  
※コップ2個の底が向かい合いになるように
- ② それぞれの糸のはじめにストローをまき、しばりつけてテープで止める



紙皿のかどをチョンと押して  
ユラユラ揺らしてください



- ③ 紙コップにかざり(色紙など)を貼ったり、絵を描いたりする

#### 【遊び方】

- ・2人で1コずつ紙コップをもちます
- ・糸をピンと張ると声がよく聞こえますので、おはなししましょう
- ・引っ張りすぎると糸が取れてしまうので、力加減を工夫してください

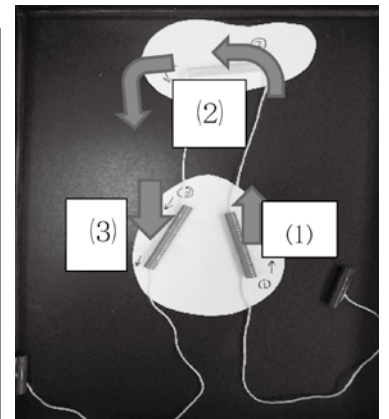
### ロケットはっしゃ!!

#### 【材料】

- ・厚紙 20cm×20cmぐらい
- ・ストロー 5cm 2本 (1)と(3)
- 4cm 1本 (2)
- 3cm 2本
- ・たこ糸 1m
- ・セロハンテープ ・マジック

#### 【作り方】

- ① 厚紙にロケットと月(星)の絵を描き切り抜く
- ② ロケットの絵の裏にストロー(5cm)を「ハの字」にテープで貼る
- ③ 月の絵の裏にストロー(4cm)をテープで貼る
- ④ たこ糸を(1).(2).(3)のストロー順に通す
- ⑤ たこ糸のはじめを3cmのストローにしばりつけ、テープで止める



#### 【遊び方】

- ・月を高い所に固定してストロー(3cm)を持ってたこ糸を左右交互に上下に引っ張るとロケットが月へ到着します。(優しく引っ張ってください。)もう一つ作ってどちらが早く月へ到着するか競争しても楽しいですよ。

### 「なかよし広場」

日程変更があります。

10月7日 → 10月21日

1月20日 → 1月13日

館報4面に記載していますので、ご確認ください。申し込みは受付中です。窓口またはお電話で。お待ちしております!

## 成人学校2学期の入学手続き

2学期受付日	令和2年7月6日	※10時から(新規受講者)	※10時45分(継続受講者)
受講料	各学期8,000円(学期ごとに) 釣り銭のないようにお願いします。 (材料費は含まれません)		
回数	1学期あたり12回 (2学期 7月第5週～11月第2週)		
講座内容	月曜日 午前	手あみもの	岡村 啓子
	午後	英会話(初級)	向山 智子
	火曜日 午前	書道	新井 清玉
	午後	実用英会話	近藤 秀子
	木曜日 午後	水彩画	飯島 文隆
	金曜日 午前	楽しむ「かな書道」	日誌 静琴

## 令和2年度 安茂里公民館主催講座

☆…新講座

### なかよし広場「楽しく遊ぼう」 (午前10:00～11:30)

1	9/9(水)	大きなお絵描き	保育士 庄村 光子	会員募集 5月20日(水)～ 定員:25組
2	10/21(水)	ミニうどん会		
3	11/11(水)	ボールを使ってあそぼう		
4	12/9(水)	クリスマス会		
5	1/13(水)	昔なつかしいあそび		

### 生活文化講座

◎バス利用(終日) 講師(敬称略で記入) 申込受付/定員

1	9/4(金) 13:30～15:30	ツボで リフレッシュ!	鍼灸マッサージ協会 村田 勇 大滝 弘子	8/18(火)～ 定員:20名
2	9/16(水) 13:30～15:30	フルーツの調べ	上田女子短期大学 非常勤講師 杉山 由一	8/26(水)～ 定員:50名
3	10/2(金) 13:30～15:30	楽しく歌おう 愛唱歌②	声楽家 上村 まり子 ピアノ伴奏 服部 秀子	安茂里在住者 9/11(金)～ 一般 9/18(金)～ 定員:100名
4	11/19(木) 9:00～15:30	◎ 企業を 訪ねて②	安茂里公民館 職員	10/29(木)～ 定員:20名
5	11/25(水) 13:30～15:30	ジャズに 魅せられて	モダンジャズグループ モダンデュークス	11/4(水)～ 定員:50名
6	12/22(火) 10:00～12:00	お正月まで飾れる クリスマスのフワー アレンジメント	グリーンショップツ 戸津 泰征	12/2(水)～ 定員:20名
☆	1/14(木) 13:30～15:30	ボールを使った 体幹ストレッチ (3回シリーズ)	長野市スポーツ 教室指導員 西澤 真由美	12/21(月)～ 定員: 各20名
☆	1/21(木) 13:30～15:30			
☆	1/28(木) 13:30～15:30			
10	2/17(水) 13:30～15:30	時代の見方・ 考え方②(予定)	信濃毎日新聞論説員 未定	1/27(水)～ 定員:20名
11	3/5(金) 13:30～15:30	楽しく歌おう 愛唱歌③	声楽家 上村 まり子 ピアノ伴奏 服部 秀子	安茂里在住者 2/12(金)～ 一般 2/19(金)～ 定員:100名

### 特別講座

◎古文書に見る安茂里 (午後1:30～3:30)

1	8/20(木)	小市の渡しの様子	長野市公文書館 専門主事 宮澤 昌道	会員募集 5/28(木)～ 定員:20名
2	10/1(木)	人々の暮らし①・ 村の形成		
3	11/5(木)	人々の暮らし②・ 村の形成		

### 食の講座

(時間はお問い合わせください)

☆	10/13(火)	小学生対象の 料理教室(仮称)	管理栄養士 牧野 見伊子	9/23(水)～ 定員:未定
2	10/22(木)	また作りたくなる 手作りベーコン (燻製の講座)	前安茂里公民館長 多田井 幸視	9/30(水)～ 定員:16名
3	10/27(火)	全2回		
☆	11/16(月)	作りタイ!食パタイ! タイ料理!	松風(安茂里大門) 三水アムパイ	10/26(月)～ 定員:未定
5	1/26(火)	絵柄の入った やしょうま作り	工房「食彩」主宰 松本 博子 酒井 祐子	1/5(火)～ 定員:24名

※燻製の講座は2回とも参加できる方が対象

※太字は日程が変更になっています。  
※7月までの講座は感染予防のため、中止しました。  
※都合により日程、内容等が変更になる場合があります。

お申込み・お問い合わせは 026-226-4059